キリスト教たんぽぽ教会　待降節第三礼拝宣教ガイド　2020/12/13

# 「待ち望む夜明け」
## （ルカの福音書1章67節～80節）

牧師：原　雅幸

### 序）夜明けを待つ私たち
・聖書は、私たちが「暗闇と死の陰に住んでいる」と真実を告げている。この御言葉の光は、人の光が消えた世界で輝く星のようである。
・聖書は「曙の光（夜明けの陽の光）」が訪れることも約束している。

### 1）主は覚えておられた！
・ローマの支配と重税の中で、神に見捨てられたと思える日々に苦しみ悩み、ザカリヤ（意味：主は覚えておられる）から希望を奪っていった。
・しかし「神は覚えておられ」、救い主のために道備えをする幼子を誕生させた。その感動から生まれた預言の歌（ベネディクトゥス）は私たちにも希望を与える。71～75節を中心にしたサンドイッチ構造。
・「アブラハムへの誓い」…アブラハムの信仰に連なる人々を祝福し人間本来の使命に生かすために神が導きと守りを与えること。

### 2）「敵」とは誰か？何なのか？
・人間が、本来の使命に立つことを妨げるあらゆる力が敵である。
→新型コロナ（COVID-19）も、人との交わりを脅かす意味で敵のひとつ。
→コロナ観の違いを理由に人を分断させる私たちの心に住む「罪」こそ敵
→「私たちを憎む者」…いわゆる「迫害者」も含まれるが、自分自身が自己を拒絶するという罪がより深い問題である。神が愛してくださっている者を、自分が拒否するなら、自分を神以上の立場としている罪。
・罪悪感の解消や刑罰を恐れるためでもなく、人間としてもっとも健やかで美しく幸いな生き方へ招かれる神への信頼ゆえに、神の道に進むことが重要であり、そこにある祝福に生きられることが救いである。

### 3）暗闇の恐ろしさを消し去る曙
・暗闇は、敵がどこにいるかわからない怖さ、進むべき方向がわからなくなる怖さをもたらすが、曙の光が救いとなる。
・闇が長く続く世界で神は「救いの角」を用意している。動物の角の生え代わりには時間が必要。神はこの間も何もしていないのではなく、痛みを伴う「深いあわれみ」によって私たちに寄り添ってくださる。
・曙の光はキリストであり、霊的にはすでに夜明けは来ている！

### 結）たましいの窓を開き続けよう
・窓が開くほど霊が強められ、「夜明けを告げる者」として生きられる。

---

キリスト教たんぽぽ教会　こども礼拝ガイド　2020/12/13

名前（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

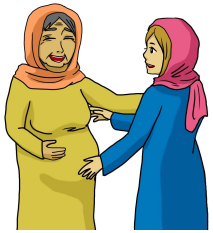
◆お話を聞きながら、答えを考えましょう。

① ザカリヤ（とエリサベツ）から生まれる男の子は、どんな子どもですか。

・名前：

・役割：

・何のしるし：　神さまが私たちを○○○○いること



② 陽の光（イエス様）の力としてお話に出てきたものに○をしましょう。

（　　）あたたかくする　　（　　）方向がわかるようになる
（　　）敵が見えるようになる　　（　　）植物を育てる
（　　）元気を与え、病気を治す　（　　）色がわかるようになる

◆お話を聞いた後で、考えましょう。

＊ あなたは自分の霊（≒信仰）をさらに強くするために、どうしたらいいでしょうか。

**みんなで一週間考えてこよう！**

～教会クイズ（教理問答）～

Q031　「全能の父である神の右の座に着かれました」とは、どういうことですか。

A031　イエスさまは□□において、父なる神さまと□□□□お方として、わたしたちを守り、導き、支えていてくださるということです。そしてわたしたちのために□□□□□てくださっています。

🕮ヒント🕮　使徒 2:30-35、7:54-60、ローマ 8:34-39、エペソ 1:20-21、コロサイ 3:1-4、一ペテロ 3:22